

八幡山公園魅力向上事業（Park-PFI）に係る基本協定を締結しました

八幡山公園、開園100周年へ向け再整備 自然体験ゾーン新設

栃木県宇都宮市の「八幡山公園」は、2027年の開園100周年に向けて大規模な整備計画を進めています。今回の計画では、公園内に新たな自然体験ゾーンを設置し、訪れる人々がより自然と触れ合える環境を整えることを目指しています。また、公園の利便性を向上させるための施設整備も予定しております。栃木ミサワホーム株式会社は、この整備事業の詳細を詰めるとともに、地域の魅力を高める公園づくりを推進していきます。



※ 上記パースはすべてイメージです。

八幡山公園魅力向上事業（Park-PFI）基本協定 調印式



八幡山公園の魅力を高めるための整備事業（Park-PFI）について、公募で選ばれた「中村土建グループ」（中村土建株式会社を含む5社）と、令和7年3月27日木曜日に事業の基本方針を定めた協定を締結しました。

（写真左から 株式会社安藤設計 安藤篤史 代表取締役、株式会社景観プランニング 柳田千恵子 代表取締役、中村土建株式会社 渡邊幸雄 代表取締役、宇都宮市 佐藤栄一市長、株式会社清水造園 清水孝眞 代表取締役、栃木ミサワホーム株式会社 佐藤郭行 代表取締役）

認定公募設置等計画の概要

認定公募設置等計画の概要についての詳細は、宇都宮市公式ホームページをご覧ください。